



【ガン検診を受けよう】

もう忘れたような20年ほど前、集団健診をうけ、肺がん、胃がん、乳がん、子宮がん、大腸がん全てに異常なしの言葉にまず安心しました。

2009年8月かかりつけの病院で高血圧等の定期検診で医師より乳がんの疑いを指摘され中国中央病院のマンモグラフィーの予約を中国中央病院の取って頂きました。高齢だった両親を見送って半年後のことでした。結果は思いもよらぬ5cmもの乳腺ガンでした。乳頭が中心だった為、自分でもおかしい、異常と思った事も無くガン検診で大丈夫と言われて（20年も前なのに）安心し油断した結果リンパ線にも転移があり、胸は石灰化が広がり夜空のスバル状態でした。

それから手術を含む1年間に及ぶ術前、術後の抗がん剤、放射線治療等が続き、家族の支えを受けお陰で元気に回復しました。今ではガン検診に加ペット画像診断も受診し転移、再発に備えています。思えば、ガン検診を定期的に受け、忙しいを言い訳にせず、自分の健康にも関心を持つことこそが家族の為になった事に気付くべきでした。

ガン等病気が進行すれば完治に時間がかかり、経済的にも負担が多く、万一の事にも成りかねません。今でも5cmものガンが消えた事で抗がん剤の辛さが消え、手術後記憶が戻ったときの「ヤッター！これで又命頂きました」の高揚感が蘇ります。

こんな私だからこそ声を大にして言いたい。今、異常の自覚が無くても、ガン検診は定期的に受けよう！！

70 歳代 女性





【がん検診を受けてよかった】



私は30年がん検診を受けていませんでしたので、ふと思いたって病院に検診にいきましたところ、乳に1cmの影があるとの事で検査の結果、悪性の乳がんと分かり、ただちに手術を受けました。ドクターから何かの知らせだったのだから運が良かったのだとおっしゃって下さりました。

だした後5年間薬を飲み今ではすっかり良くなり再発もなく元気に生活しております。恥ずかしがらずに思いきって検診を受ける事の大切さを身をもって体験致しました。

もし検診を受けないままだったらどうなっていたかと思うとこわくなります。早めの検診はとても大切です。



70 歳代 女性



【家族のためにも検診を】

私の母は8年前にステージ3の乳がんと診断されました。再発はなく過ごしていますが、癌の遺伝をととても気にしています。私自身、病院へ行くのは嫌いで、定期健診以外は病気にならないと病院に行くことはないのですが、しきりに母にがん検診を受けるよう言われていました。自分が癌になったからと・・・。数年前重い腰をあげて子宮がん・乳がん検診を受けてみました。結果は異常ありませんでした。

私以上に、母親が安心した様子を見て、受けてよかったと思えました。また足が遠のいていましたが、今年市から無料クーポンをいただき、検診に行こうというきっかけをいただきました。自分と家族のために受けたいと思います。

40 歳代 女性





【乳がん検診体験記】

私が乳がんを告知されたのは、今から9年前になります。そう40代後半の時でした。福山市の健康福祉祭で乳がん検診を受けられることを知り、それまで一度も検診を受けたことがなかった私は、無料でうけられるならという、ほんの軽い気持ちで申し込みました。

検診を受けて10日位たった頃、電話で、右の胸に影のような点が写っているので、検査を受けてくださいと言われました。電話があるまで検診を受けたことなど、気にもしていなかった私は、えっ！どういうこと？と思いつつ、頭が真っ白になったことを今でも覚えています。

その後、病院で全ての検査をしました。結果が出るまでの数日がものすごく長く感じられました。結果は今の時点でははっきり分からないので、半年後に来てくださいということでした。その時の私は、しこりもないし、きっと悪性ではない！と勝手に思い込んでいました。

半年後の結果は乳がんでした。一人で結果を聞いたのですが、乳がんと言われた時は、やはり冷静ではいられませんでした。その日はどうやって家まで帰ったのかも思い出せません。私の場合は、非浸潤がんという乳がんで、ステージは0期なのですが、全摘出が必須でした。胸を失うショックは大きく、手術や術後の不安で押しつぶされそうでした。そんな時主人が、わしで出来ることはしちやるけえと口では言いませんが、食事を作ってくれたり、息子達の世話をしてくれたり、いろんな事を受け止めてほんとによくしてくれました。



次のページへ続く



がん体験記 ～乳がん検診～



再建手術ができると先生から説明されて、短い間に決めなければいけないので悩んでいた時、先生から患者会を紹介していただきました。同じ病気の方々が生き生きとしておられ、みなさんのお話を聞かせていただきとっても勇気をもらいました。この時私も再建手術をやろうときめたのです。

おかげで無事に手術も終わり、以前よりもとっても元気でパワフルになれたように思います。今の私があるのは、支えてくれ温かく力強い主人、そして息子達、息子を支えてくださった施設の職員さんのおかげです。先生、看護師さん、アンダンテの仲間のみなさんには感謝してもしきれません。みんなにありがとうの気持ちでいっぱいです。

最後に、たまたま受けた健康福祉祭の乳がん検診、もしあの時、検診をうけていなければ、今頃、私はどうなっていたか考えただけでぞっとします。こんな私がいうのもなんですが、こんな私だから言わせてください。まだ検診へ行かれた事がない方、今からでも遅くはありません。是非行ってください。お願いします。

50 歳代 女性



がん体験記 ～乳がん検診～



【私の乳がん体験記】

私は10年前に62才で乳がんが見つかり手術して抗がん剤などの治療を終えた者です。最近では乳がん患者が増えて12人に1人は乳がんになると云われています。私は62才迄健康で、出産以来入院などしたこともなく元気印の人間でした。どうして私が、何で私かと告知を受けた時はショックでした。もっと早く検診を受けていればこんなに辛い思いをしなくて良かったのにと後悔したものです。早期発見早期治療が如何に大切かを身をもって体験しました。

乳がん検診を受けてない方には「是非検診してネ！！」と伝えております。自分は乳がんなんかにはならないということはないので是非定期的に検診してほしいと思います。

体験者として後悔のなきようにしてほしいと思います。今は年1回検診して再発予防につとめています。

70 歳代 女性

【早期発見】

私は出産時、病院の助産師さんの対応に不信感を覚え、退院後、母乳管理のため市内の助産院にかかりました。子供が1歳半になり無事に断乳。きちんと後処理もしていただいて、助産院を卒業する際、「乳がん健診しておいた方がいいですよ、病院紹介しますね」と言われました。毎年、子宮頸がん検診は受けていましたが、マンモグラフィは一度しか受けていなかったもので紹介していただいたクリニックへ行ってみました。

マンモグラフィでは異常なしでしたが、エコー検査で黒い小さな影がみつかりました。

その時は「断乳したてなので、おそらく乳腺症ではないか」と言われましたが、先生の勧めで詳しく検査した結果、がんが見つかりました。小さくても乳管内だったので、左胸は全摘出でしたが、本当に早期だったため、リンパ節への転移もなく現在は内分泌療法にて治療中です。

子育てで毎日忙しく、自分のことは後回しになりがち。まさか自分ががんに侵されていようとは想像だにしなかったのですが、あのタイミングで健診を受けたことで私は命拾いをしました。もしも、進行の早いタイプの癌細胞ならば、今どうなっているのか判りません。とにかく、定期的な検査で早く見つける、それしかないのだとつくづく感じました。

40 歳代女性

がん体験記 ～乳がん検診～



【初めての乳がん検診】



30歳を過ぎたら乳がん検診を一度は受診するべきだという話を聞いたので、私もどこかのタイミングで検診を受けようと思っていました。しかし、実際に検診を受けるまではそれから数年かかりました。マンモグラフィは痛いと言う人もいたのでドキドキし、覚悟をしていましたが、思っていたより痛みは軽かったです。

結果はおかげさまで異常なしでしたが、結果を知るまでは不安もよぎりました。もしもがんが発見されたらどうしようか…。はじめの1歩を踏み出したので、毎年とはいかずとも1年おきにでも継続して検診を受けていくようにしたいと思いました。他のがん検診は、子宮がん以外受けたことがないので40歳の節目で受けたいと考えています。



30 歳代 女性

【がん検診受けて安心を手になしよう】



子育て中のことでした。職場の人間ドックで乳がん検診のマンモグラフィ検査を受けたところ、要精密検査の判定が出ました。がん検診として受けている以上、今がんが見つかったら、今後の生活はどうなるのかと不安になりました。周囲の知人にも相談をした記憶があります。

後日、市内の乳がんの専門の外科医にて、超音波検査を受けた結果、乳腺に母乳の飲み残しがあり、その影が映っただけなので心配ないとのこと、ほっと胸をなでおろしました。

それから、毎年乳がん検診を受検していますが、全く異常はありません。これからも、健康でいるためにがん検診を受けたいと思います。

60 歳代 女性





【久しぶりのがん検診を受けて】

たまたま目にしたマンガで、日本人の女性の胸はマンモグラフィでは実はガンが分りにくいのだと書いてあった。

そんな時職場でまわってきた乳がん検診のお知らせに“そういえば最近受けてないな”と目を通してみると、それはマンモグラフィと併せてエコーの検診があるとのことで、受けてみる気になった。

当日は何もあるまいと思いつつもやっぱりドキドキし、検診を終えた。約1か月かかるという検診結果を待ちながら、先に保険を増やしておけばよかったかなと心配していると、12月の終わりに結果が届いた。

結果は「問題なし」！何もないとは思いつつも、やっぱりそれを見るととても嬉しく思えた。おかげでよい新年が迎えられた。今年も（せめて2年に1回は）目につけば申し込もうと思った。自分のために、家族のために、気をつけておけば後悔することはないと思うから。

40 歳代 女性

【重い腰を・・・】

私の身近な方が乳癌にかかり心が重くなっていたある日、その方が「これが乳癌よ。触ってご覧」と受け容れるにはまだしんどいであろう時期に心の扉を開き（胸も開き）私の手を取って触らせて下さいました。

右掌に、はっきりとしっかり触れた異物の感触は私にとって衝撃でした。瞬間言葉を失いました。勿論その方から検診の重要さを諭され重い腰をあげ、即乳癌検診へ。

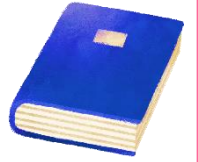
その方の的確な助言と親切心を戴いたからこそその受診で、その後も十年余り継続して受診しております。その方にお会いする度に今でも右掌の感触をご親切なアドバイスに心の中で頭を下げております。（自分の右掌を見つめたら）良いチャンスとばかりに娘にも勧めて母娘共々年に1度欠かさず受診しております。

70 歳代 女性

がん体験記 ～乳がん検診～



【かかりつけ医で早期発見を】



高血圧で診てもらっていたかかりつけ医の検診で乳がんが発見されて10年たちました。5cmも成長したがんだったので、抗がん剤、手術、放射線治療と病院に通院、最後の抗がん剤点滴を受けたのは1年後でした。

その10日後70才になりました。命を頂いた喜びと共に、もっと早くに検診を受けていたら初期がんで済み、治療費に心配する事もなかったと思います。その後も3か月毎の検診はもとより、5年間のホルモン治療もあり、がんの怖さを身にしみて知りました。

10年目の昨年、最後の検査のCTで、腎臓がんが見つかりましたが、転移もなく初期でしたので、部分切除で、治療期間も短く、お陰で高齢者保険の適用を受けることができました。がんは500円玉位でした。

コロナの今、私が訴えたいのは、かかりつけ医を持つこと、がん検診を受けることです。癌は無言の病です。かかりつけがあれば、次のステップもすすむ事が出来る。命を二度も頂いた私は感謝あるのみです。



80 歳代 女性



【がん検診】



「マンモグラフィは痛いから嫌だ!」と思いながらの受診。自分でも日頃からさわって確認はしていますが、やはりプロの目線で判断していただき、“異常なし”の通知を受けるとホッとします。マンモグラフィは痛いからエコーだけで…と思うこともありますが、併用することでより安心を得ることができると信じています。40代、50代は乳がんの罹患率が高いので気を付けて過ごします。

50 歳代 女性





【検診を続けて良かった！！】



私は62才の時、自分で乳房に「しこり」を見つけて乳がんの手術を受けました。抗がん剤でがんを小さくして、乳房温存手術となりました。

その後は定期的に検診を受けておりましたが、18年経った昨年秋、検診を受けたら、何と影があると医者に言われました。もう今回は検診を受けなくても良いかと思いつつ受けた結果、がんは、小さくしこりのないものでした。

80才でしたので、私の寿命とがんの増殖とどうなのかと迷いましたが、先生の言われるように手術することに決めました。前回と同じ乳房でしたので、全摘手術ということになりました。やはり検診を受けてがんが見つかり、手術を受けることが出来て良かったと思いました。検診を受けて、しこりのない早期の乳がんを見つけてもらって、やはり検診を18年続けて良かったなと思いました。

早期発見、早期治療でこれから残された人生を愉しく生きてゆきたいと思います。



80 歳代 女性

【乳がん】

初めて乳がん検査を受けたのは、一昨年前でした。1年あけて今年また乳がん検査をしました。前回も今回も異常がなく、安心しました。若い人でも乳がんが多く、人ごではないので定期的に受診しようと思いました。早期発見で完治も多いので、検査はいやだけど、みんな受診した方が良いと思いました。広島県はがんの受診者が少ないと言っていたので、乳がん以外も受診した方が良いと思います。

50 歳代 女性





【乳がん体験記】

乳がんの手術をしてから10年がたちました。私の場合、母も若いころ乳がんの手術をしています。その手術のあとはとてもひどくて、とても大きな傷跡を残しています。腕もむくんでいます。あれから50年がたって、現在87歳。ちゃんと生きてくれています。でも、自分もいつか・・・という不安が常にありました。職場の健康診断では乳がん検診も子宮がん検診もありませんでした。それで安心していただけです。

そんなある日・・・胸のしこりやひきつれが気になり友達に相談してみました。強引なその友だちのおかげで検査を受ける気になりました。そしてその病院では、「いつごろ来とるん？ どうしてこんなになるまでほっといたん？」と、言われました。知識がないことがこんなに恐ろしいとは思いませんでした。

それから始まった三大治療。私の場合、転移もあったので術前治療として抗がん剤を投与し、それがよく効いたので乳房温存手術となりました。でも抗がん剤による治療で人相まで変わっていたようです。それくらい辛いものでした。そのころ子どもは上が専門学生。次が高校生。三番目の子は中学生でした。学費がたくさんかかっていたその時期に、自分の治療や手術もあって家計は火の車でした。治療をやめたいと何度も思いました。

次のページへ続く



がん体験記 ～乳がん検診～



おかげ様で術後の経過もよく、それなりに回復することができたのは、家族や周りの支えがあってこそです。私も苦い経験から「健診にいきよ！」といろんな人に伝えてきました。そんな一昨年の健康診断で見つかった異常。すぐに専門医に行くように勧められみつかった膀胱がん。思いもよらないことでしたが、きちんと受けていた健康診断のおかげです。どちらもうれしいことではありませんが、体験に勝るものはなく、自分の体の異常には気を付け、定期的に健康診断には行くこと。これが大切だと身をもって感じています。

職場の健康診断で、乳がんや子宮がん検診ができたらどんなにいいかとも思います。

そのために仕事を休んだり、小さなこどもを預けたりしなくてもいいように。また私のように、母が乳がんで私も乳がんになると、娘たちの事を心配せずにはいられません。

どうぞ若い女性たちも検診にいったほしいです。また子育て世代の方も、親の介護世代の方も自分を大切にしてほしいです。検診の為の時間を作ってほしいのです。これには家族や周りの人の協力なしにはできません。どうぞ自分の命も、周りの人も大切にしてください。

50 歳代 女性





【笑顔で前進】

2005年に乳がんと診断され術前化学療法、乳房温存手術後に放射線治療をしてホルモン療法を5年間行いました。当時はそれが新しい治療法でした。乳がんと診断されるまでの数年間は、乳腺外来というのがあるのも知らなかったので、産婦人科に相談していました。

知らないということは本当に残念な事です。乳がんと診断されたときにはがんは大きくなっていて転移もしていました。それでも幸い抗がん剤がよく効いて乳房温存手術となりました。

生活も元に戻り気持ちも体力も随分元気になっていたのですが、健康診断で2014年膀胱がんが見つかり手術。その後も再発を繰り返し、遂にはBCG膀胱注治療。追加治療も行いましたが、これは辛かったです。その後も定期的に検査をしていますがお陰さまで順調です。乳がんの方も定期的に検査をしていたのですが、今度は健康診断で肺に異物が見つかり、その後の検査で手術したほうがいいだろうといわれました。

手術後わかったことは、乳がん再発転移でした。2019年夏のことでした。乳がんが初めて見つかったときからいけば15年が過ぎていました。気にはしていましたが、やはり「まさか?!」と疑ってしまいました。これも健康診断のおかげです。またまた救われました。

お陰さまで今こうして元気になる仕事にも復帰しています。周りの方の支えもあり、仕事ができていることに感謝しています。まだまだやりたいことも行きたいところもたくさんあるので、このコロナ禍の終息を願うばかりです。

50 歳代 女性





【がん検診を受けてよかった】

伯母（父の姉）は、私がものごころついた時には片方の乳房はありませんでしたが、93歳まで長生きしました。その叔母の夫は胃がんで全摘しました。しょっちゅう口をモグモグさせていたのを子どもながらに覚えています。その子どもは胃がんで一部切除。母親より先に亡くなるのではと言われながら、まだ生きてます。

父の姉は直腸がんで亡くなりました。私の母は胃がんが見つかり一部切除しましたが、5年以上すぎました。

このようながん家系なので、がん検診はできるだけ受診してます。いまのところ異常は見つかっておりません。これからも乳がん検診だけでなく、他の健診も可能なかぎり受診して、早期発見・早期治療ができればいいなと思っております。

60 歳代 女性

【乳がん・肺がん検診体験記】

私は平成24年に健康診断を受けましたところ、乳がん検診で要精密検査と言われ、精密検査を受けるよう勧められましたので、専門の医療機関で検査をしたところ、非常に見つかりにくい部位にがんが見つかりました。乳がんで進行状況はステージ1ですと伝えられました。幸い初期の段階で見つかったので、手術後1週間程度の入院でリハビリをすることもなく退院できました。その後、放射線治療を1カ月続け薬は現在も服薬中です。

また平成25年に健康診断を受けました時には肺がんが見つかりました。こちらの場合も進行状況がステージ1～2と早期に発見されたため、即手術をし現在は健康に過ごしております。平成28年7月にPET検査をしたところ、何も異常は見つかりませんでした。自分は検診を定期的に受けているので、早めに病気を見つけて治療できており、今は元気に過ごしています。そういった経験を自分がしてきたので、自分の周りにも検診を受けるよう勧めています。その勧めた中の1人から胃がんが見つかりました。この方も早期に発見されたので、ことなきを得、現在は元気に過ごされております。

70 歳代 女性





【明日に延ばしてはいけない がん検診】

子どもを出産してから、毎年乳がん検診を受けていたので、軽い気持ちで会社の“乳がん検診”を受けましたが、突然、検診から帰って「検査結果に白い影がある様に見えるから、紹介状を書くので再検査を。」と健診機関から会社に連絡が入りました。

乳腺炎も頻繁になっていたので普通に検査を受けましたが、「良性の乳がん ステージ0 です。手術したら大丈夫だから．．．」と病院の先生から言われ、半分だけ安心していました。

手術は3時間で終わり、術後4日目に退院。乳がんの手術の1か月前に左脚の股関節の手術、そして乳がんの手術、その1か月後に右脚の股関節の手術．．．と予定が詰まっていて、ステージ0ならと、あまり重視していませんでした。

ところが．．．手術中に取った生検で「がん細胞は、4 mm×6 mmでHER2 陽性の転移する悪性のがんで、ステージ1 になります！」と聞き、話が急展開！！

退院して、約1 か月は、放射線治療。そのあとは．．．3 週間毎全18 回の抗がん剤治療。気合入れて臨みましたが、杖がないと歩けない、眠たくても眠れない。（この症状は、投与後1 週間続きます。）また、髪の毛も抜けました。

もう橋を渡った方が、絶対ラクになる！何度もそう思いながら、1 年半の抗がん剤治療が終わりました。

全身の検査ではがんの転移がなかったので、その後ホルモン治療に入って2 年目。食事は気を遣って作っていましたが、いろいろ調べてみると、もっと改善しないといけない事に気が付いたし、ライフスタイルも睡眠時間を増やす様にしています。

これもがんになったお陰かも．．．？そして、1 日1 日を大切に思える様になりました。

何事も明日に延ばしてはいけない。健康な方でも、もしがんになったら．．．って思うと、自分の暮らしを見直す事が出来るかも？っと思いペンを取りました。

がん検診は、是非オススメです。

50 歳代 女性

